

# 農作物生育・技術情報 3号

令和4年(2022年)6月20日

日高農業改良普及センター日高西部支所  
JAびらとり JA門別町

## 1. 主要野菜の生育状況

【普及センター調べ】

作物名	生育状況	技術対策
トマト	3月定植：3段目収穫中 4月定植：1段目収穫中 5月定植：4段花房開花 ＜病害虫、生理障害＞ ・灰色かび病が多く見られる。 ・引き続き黄変果、グリーンバックの発生が見られる。	＜灰色かび病＞ ・ベット内側の葉を中心に摘葉を行い風通しを良くする。 ・側窓、出入り口を開ける、換気扇を回すなど、ハウス内が多湿にならないよう注意する。 ・薬剤防除は、ローテーション防除で効果的に行う。 ＜高温などの障害＞ ・強日照が予想される場合は、遮光資材（ネット、塗布材）を利用する。 ・曇天が続いた後に高温、強日照が予想される場合は、かん水の間隔を狭める、カルシウム材を加えるなど適切な土壌水分確保や肥培管理に努める。
ハウス軟白ねぎ	・2月定植収穫中。 ・ハモグリバエ類が見られる。	・ハウス周辺の除草、残渣の処理を徹底する。
ハウス立茎アスパラガス	・立茎期。 ・夏芽収穫始め。	・ジュウホシケビナガハムシの適期防除に努める。 ・ハウス周辺の除草を行う。
かぼちゃ	・つる伸長期。	・適期に子づる除去を行う。 ・誘引を行う。

## 2. 畑作

### (1) ばれいしょ

○疫病 疫病は着蕾期以降から発生が見られ、降雨による多湿で蔓延しやすくなります。降雨前の予防防除を徹底しましょう。

※カルビーポテト契約ほ場では、同社提供の防除体系例も参考にして下さい

○軟腐病 高温多湿で多発します。特に高夜温が続き、降雨が予想される場合、予防防除を行いましょ。

### (2) てんさい

○根腐病 6月下～7月上旬までに予防的に薬剤散布しましょう。

○ヨトウガ 食害を受けた株が見られたら防除を開始しましょう。

\*詳細は北糖の「てんさい栽培技術情報」をご覧ください。

### (3) 秋まき小麦

### ○アブラムシ類

出穂10日目に穂を観察し、2本に1本の割合でアブラムシが寄生していれば防除して下さい（基準は1穂当たり7～10頭）。

### (4)大豆、小豆

定期的の中耕作業を行い初期生育の促進に努めましょう。

中耕作業は花芽分化前の7月上旬までに終了します。

## 3. 牧草生育状況（6月15日現在 普及センター調査ほ）

作物名	生育状況			遅速日数	摘要 (作業期節・特記事項)	
	項目	R4年	平年			出穂期(平年)
牧草	草丈	89.0cm	89.4cm	6/12(6/12)	±0	生育遅速は平年並である。

### ○1番草収穫の施肥

- ・1番草の収穫後は、草種に応じた追肥を行いましょ。
- ・チモシーでは、新しい分けつが地表に出現する刈り取り後1週間～10日目頃に施肥することで、2番草の1茎重が増えて多収になります。この施肥を行わないと、経年的にチモシーの茎数が減り、雑草の侵入を招くことになるので注意しましょう。
- ・オーチャードグラスでは、栄養茎がすぐに再生を開始するので、1番草刈り取り後できるだけ速やかな施肥を心がけましょ。

## 4. サイレージ用とうもろこし生育状況 (6月15日現在 普及センター調査ほ)

作物名	生育状況			遅速日数	摘要 (作業期節・特記事項)
	項目	R4年	平年		
とうもろこし	草丈	25.7cm	26.8cm	±0	生育遅速は平年並である。
	葉数	5.5枚	5.1枚		

除草剤は、雑草が大きくなりすぎると効果が劣ることがあるので、生育を見て早めの散布を行いましょ。また、使用量・使用法を遵守して適切に使用して下さい。

### 家畜管理情報 ～暑熱対策をしましょ～

今後の気温上昇に備え、早めの暑熱対策により家畜のストレスを回避しましょ。

#### 1 水の給与

- ・給水器を衛生的に保ち、水が常時飲める状況をつくりましょ。
- ・屋外パドックや放牧地の水槽も、十分チェックしましょ。

#### 2 舎内の換気

- ・気温24℃程度以上なら扇風機・強制換気等を活用し換気を積極的に行いましょ

#### 3 飼料の給与

- ・品質の高い「早刈り」ラップ等を選択して給与しましょ。
- ・涼しい夜間に粗飼料を多めに給与して、1日の乾物摂取量を確保しましょ。
- ・長い乾牧草(20cm以上)は、できるだけ短く切断しましょ。
- ・リンカル剤やビタミンなども含め、10～15%程度増給しましょ。
- ・「固形塩」の消費量が増えますので、切らさないように注意しましょ。

## 5. 6～8月は「農薬危害防止月間」です！

○病害虫・雑草の防除に使用する薬剤は、農林水産省登録の薬剤に限ります。

○使い慣れた農薬であっても必ず「令和4年度 防除ガイド」と「農薬ラベル」を確認しましょ。